

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5009	(H.24)No.	5009
-----------	------	-----------	------

事務事業名		百々生活排水処理施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		下水道維持室		雪岡 太	63-7102
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	名張市百々生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	253301
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	百々生活排水処理施設管理費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	環境対策費	百々生活排水処理施設管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
百々地区22戸の生活排水処理施設(処理能力 36m <sup>3</sup> /日)、管路、マンホ-ル及びマンホ-ルポンプの維持管理	適正な管理をし、快適な生活環境の創造と水質保全を目的とする

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	消耗品費 2千円 光熱水費 578千円 修繕料 2,924千円 電話料 40千円 手数料 619千円 保険料 1千円 委託料 1,575千円	消耗品費 4千円 光熱水費 627千円 修繕料 650千円 電話料 75千円 手数料 620千円 保険料 1千円 委託料 1,730千円 水道会計負担金 9千円	補助金・交付金	その他 ( )		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
			消耗品費 4千円 光熱水費 627千円 修繕料 3,000千円 電話料 75千円 手数料 620千円 保険料 1千円 委託料 1,730千円	消耗品費 4千円 光熱水費 627千円 修繕料 3,000千円 電話料 75千円 手数料 620千円 保険料 1千円 委託料 1,730千円	消耗品費 4千円 光熱水費 627千円 修繕料 3,000千円 電話料 75千円 手数料 620千円 保険料 1千円 委託料 1,730千円	
<b>直接事業費</b>	<b>5,739千円</b>	<b>3,716千円</b>	<b>6,057千円</b>	<b>6,057千円</b>	<b>6,057千円</b>	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(使用料)	1,045	983	1,000	1,000	1,000
一般財源	(0)	4,694	2,733	5,057	5,057	5,057
人工数	職員	0.10人	0.16人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等					
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 730千円</b>	<b>1,168千円</b>	<b>730千円</b>	<b>730千円</b>	<b>730千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 6,469千円</b>	<b>4,884千円</b>	<b>6,787千円</b>	<b>6,787千円</b>	<b>6,787千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	戸	22	22	22	22	22
	実績		22	22	22	22	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成7年度竣工の処理施設で適正な維持管理を行いました。が、老朽化が進み修繕費が増加傾向にあります。	今後予想される処理機器修繕の年次計画を立案する必要があります。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
更に一層の生活環境改善が求められます。	特になし

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
生活環境の形成とともに公共水域の水質保全の為、継続が必要。

特記事項